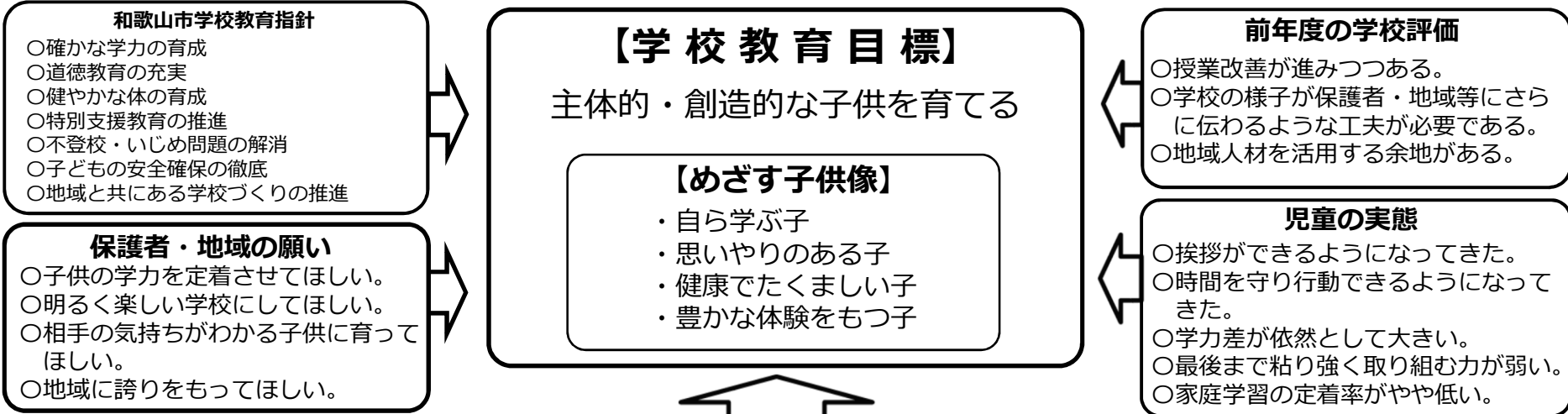


# 令和3年度 和歌山市立三田小学校 スクールプラン



<b>重点目標</b>	<p><b>確かな学力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎子供主体の授業の推進</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<p><b>豊かな心の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>◎いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○社会性・協調性の育成</li> <li>○積極的に挨拶ができる子に</li> </ul>	<p><b>健やかな体の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<p><b>地域とともにある学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎家庭・地域との連携充実</li> <li>◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進</li> <li>◎地域の資源活用の推進</li> </ul>	◎：特に重点的に取り組むこと
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学、基礎学、放課後フォローアップタイムの充実を図る。</li> <li>○学びのルールや粘り強く考える学習習慣の定着を図る。</li> <li>○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を意識した授業を行う。</li> <li>○手引きを活用し、保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る。</li> <li>○読み聞かせや読書活動を積極的に取り入れ、文字に興味をもたせ、学習への意欲づけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の充実を図るうえで「みんなの道徳」「心のとびら」を有効に用いる。</li> <li>○いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。</li> <li>○情報モラルを学ぶ機会をもつ。</li> <li>○「わくくらす」をはじめ、命の大切さを学ぶ機会を設ける。</li> <li>○教師が手本となって、挨拶をする習慣をつけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県チャレンジランキングに参加したり、校内なわとび大会を企画したりして体力の向上を図る。</li> <li>○「早寝、早起き、朝ごはん」を保護者に啓発するとともにSANTA70(生活調べ)を行い、生活改善・意識改善に努める。</li> <li>○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。</li> <li>○授業で地域に出て、積極的に交流を行い、多様な生き方を学ぶ。</li> <li>○保幼小の接続、中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する</li> <li>○授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。</li> </ul>	
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査で平均正答率が県平均を上回る。</li> <li>・毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 95%)</li> <li>・「みんなの道徳」等の活用 100%</li> <li>・いじめの解消率 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんを食べた。(児童アンケート 100%)</li> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、実践した。(教師 90%)</li> <li>・避難訓練において、一次避難が避難開始より4分以内に完了する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート 80%)</li> <li>・ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。(教師 90%)</li> </ul>	